

第8回協議会を開催しました



野津原中学校区
適正配置地域協議会
だより

第8号
平成27年8月



七月二十三日（木）の午後七時から、野津原市民センター大会議室において、第八回の協議会を開催しました。

議事一「第七回地域協議会で残された課題について」では、野津原地区の児童育成クラブについて、担当課である子育て支援課の方針に関して事務局から説明がありました。この説明を受けて、利用人数が増えて育成クラブが狭くなった場合に、担当課はどう対応するかといった質問がありました。

また、地域の方々に統合のお知らせをどのような方法で行うかといったことに関して碩田中学校区で作成されたパンフレットを例に挙げながら事務局から説明がありました。このことについて、子どもに統合のことをいつのタイミングでどのように知らせるかといったことに関する意見や質疑がありました。

次に、議事二「野津原地区全体の学校教育について」では、保護者の方や地域の方の思いや意見を各校区でとりまとめ、八月十七日までに事務局に提出したうえで次回協議することを確認しました。

議事三「統合の時期・方法」では、これまでの協議経過を踏まえて、統合時期を平成二十九年度とするか三十年度とするかといったことに関して「子どものことを考えると早いが良い」という意見や「統合による不安を解消するための環境を整備してから」という意見など活発な論議がなされました。

野津原地区全体の学校教育に関することと統合の時期に関しては引き続き協議し、第九回地域協議会で意見をまとめることを確認しました。

次回は

八月二十七日（木）開催

第九回の協議会は平成二十七年八月二十七日（木）、午後七時から午後八時三十分まで、野津原市民センター大会議室で開催します。

委員以外の地域の皆様にも会議の様子を実際に見て、聴いていただきたいと思います。

第8回協議会における主な意見を掲載しています (発言内容については、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

○は委員の発言 ●は事務局の発言

第7回地域協議会で残された課題について

【児童育成クラブに関して】

- 児童育成クラブは、放課後における児童の安全確保の観点から学校敷地内の設置を原則としており、小学校の統合後は児童育成クラブについても東部小学校への統合を基本的な方針としている。現時点では、統合後も現在の施設で対応ができる見込であるが、利用児童が増えて対応が困難となった場合は、担当課が必要に応じた提供体制を確保する。

【統合のお知らせに関して】

- 協議会で適正配置に関する報告書ができたあと、教育委員会で適正配置の実施計画を平成27年度中に策定する。実施計画策定後に、その内容を説明するためのパンフレットを作成し、野津原地区の全世帯に配布することを考えている。
- 統合に当たっての協議会の思いなどをパンフレットに反映させたいので、委員も一緒に作ることは可能か。
- パンフレットの中に協議会の思いなどを記載したコーナーを設けたり、協議会と事務局が一緒に作ったりすることなども相談させていただきたい。
- 統合のことを子どもたちにいつのタイミングでどのように知らせるか。
- 子どもたちへのお知らせについては、子どもの状況が一番分かっている学校から時期を見て説明していただきたい。説明の際にはパンフレットを使っても構わないし、もう少し分かりやすいものを学校で独自に作っても構わない。



野津原地区全体の学校教育について

- 適正配置に関する思いや意見を各校区で集めたところだ。次回の協議会までにはまとめることができると思う。
- この議題は野津原の小学生が中学校に上がる時に、他校区の中学校に行く人が多いといった現状があるのでみなさんで考えましょうということが出たものである。保護者、地域、行政が協議を通して解決策を見つけて行ければよいと考えている。
- 小学校の段階でみんなが仲良くなって一緒に中学校に行こうという思いが共有できるように、今から統合に向けて何ができるかといった観点から意見をいただきたい。
- 各校区でとりまとめて8/17までに事務局に用紙で提出していただきたい。



統合の時期・方法について

- 統合の時期に関しては、これまで平成29年度か平成30年度という方向で協議を進めてきた。平成28年度からは、統合に関する協議を行う統合準備委員会と、閉校に関して校区ごとに協議を行う実行委員会を組織して協議を進めていくことになる。
- 閉校に係る実行委員会を校区ごとに進めながら、別の組織である統合準備委員会も同時に進行するとなると委員の負担が大きくなるので、平成29年度に統合するのは厳しいと思う。
- 委員の負担よりも子どもたちのことを考えることが重要だと思う。複式学級のある学校のことを考えると、早く複式学級を解消するために平成29年度に統合した方が良いと思う。
- 「統合に当たって子どもの心のケアが必要ではないか」「学校がなくなれば地域とのかかわりが少なくなるのではないか」「校舎等の施設整備が必要になるのではないか」といった不安がある。そういった不安を解消するために環境を整備してから統合した方が良いと思うので、統合は平成33年度でも平成35年度でも良いと思う。
- 子どもは柔軟性を持っていると思うので、余程の事が無い限り大丈夫だと思う。

- 子どもの将来を考えるのであれば早く統合して子どもを大人数の中で色々学ばせた方が良いと思う。統合を1、2年先延ばしにしても子どもたちが迷うだけだ。統合の時期を早く決めてスピード感を持って話を進めるべきだ。
- 今は平成29年度なのか平成30年度なのかどちらかに決める時期だ。統合に向けて、今後どのような委員会が組織されるのか、どのくらいの期間がかかるのか、どのような協議が必要なのかといったことに関して、次回の協議会で事務局から説明を聞き、私達委員がそれに対応できるかといった協議ができれば良いと思う。
- 統合の時期については引き続き協議し、次回の協議会で意見をまとめることとする。



第8回地域協議会での確認事項

- ◆野津原地区全体の学校教育に関する意見については、第9回地域協議会までに校区ごとに集約して事務局へ提出し、その上で次回、地域協議会としての意見をまとめること。
- ◆統合の時期に関しては引き続き協議し、第9回地域協議会で合意形成を図ること。
- ◆第9回地域協議会を8月27日（木）の19:00～20:30、野津原市民センター大会議室で開催すること。

◆編集後記◆

協議会では、協議会の様子を広くお知らせするため、協議会だよりを発刊するとともに市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。

今後とも、協議会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

野津原中学校区適正配置地域協議会だより「第8号」

発行：平成27年8月
 発行者：野津原中学校区適正配置地域協議会
 事務局：大分市教育委員会教育企画課
 連絡先：住所 大分市荷揚町2番31号
 電話 097-537-5903（直通）
 E-mail kyoikukikaku@city.oita.oita.jp